

信頼の技術力で実を結ぶ

有限会社アイハラ

〒013-0205 秋田県横手市雄物川町今宿字高花9-1
TEL 0182-22-5434 / <http://www6.plala.or.jp/aihara-screen>



「どんどんと新しい分野に挑戦していきたいですね!」と相原さん

県内初の企業間連携による 大手からの受注獲得!



念願の自動車産業への参入

印刷誤差は±0.02mmの驚異の技術力を持つ横手市雄物川町の有限会社アイハラ。プラスチック成型品、ガラス、アクリル、ゴムに金属、さらには平面や曲面、球面等、あらゆる素材や形状に「No」とは言わない相原社長の営業力で大手メーカー製品の印刷を担っている。そんなアイハラが今春、初めてトヨタ自動車東日本(TMEJ)への部品を受注した。

「今まで携帯電話やスマートフォン、デジタルカメラ等、多くの商品を手掛けてきましたが、ライフサイクルに依存する製品はモデルチェンジのスピードも速く、ブームが終わればあっという間に消えていく。流行に売り上げが大きく左右されるため、安定した受注の確保が長年の課題でした」。

伸び代があると踏んだ自動車産業への参入に手を挙げたのは10年以上前。しかし、全くの新規分野でそう簡単に受注に繋がることはなかった。

「2012年頃からセンターにお世話になり始めました。始めは工場内の作業標準書の作成といった本当に細かいところから厳格に取り組むよう指導されまして。その後も支援を受けながら自動車勉強会や展示会に参加し、徐々に県内外の企業との繋がりができていったんです」。

本来であれば接点がない異業種企業同士の繋がりが、こ

の小さな積み重ねが大きな転機となった。展示会で知り合った企業が「部品の一部にホットスタンプができるところは知らないか」と相談を受け、相原さんを紹介した。

信頼に応え、更なる受注に繋げたい

初の自動車産業に参入して半年が経過。創業時から続く納期・品質・コストの厳しい管理への姿勢も評価され、先方の満足度も高い。今後の課題は、物流の整備と手狭になってきた工場の拡張だ。

「大手メーカーへの参入は1つ目の製品で信頼を頂けるかどうか大事。従業員も一層気合を入れて取り組んでくれている。これをきっかけに、他の部品の受注にも繋げていきたいですね」。



参入に向けては、当センターで自動車産業支援のプロジェクトマネージャーを務める上林氏(元TMEJ.左)が支援してきた。右は受注品を担当する新田さん。



現在の主力受注先はカシオのG-SHOCK。極少の文字盤や針に正確無比に色を入れていく。

事業概要

自動車産業への参入支援

県内企業と自動車メーカーや部品メーカーとのマッチング、新技術・新工法の芽出し、域内連携の構築などを支援します。

お問い合わせ

取引振興課

TEL.018-860-5623